



Pack  
9

# Ferrari

## 250 GTO



# Ferrari

## 250 GTO

### 組み立てガイド

<b>STAGE 33</b>	フロントホイール・右③	P.129
<b>STAGE 34</b>	フロントホイール・右④	P.133
<b>STAGE 35</b>	オイルリザーバーとフィルター、ポンプ	P.137
<b>STAGE 36</b>	スパークプラグリード	P.141



## フロントホイール・右③

右側のフロントホイールの組み立てを続ける。STAGE 34 で完成だ。

33-1



33-2



33-3



ネジB×7



33-4



33-5



## パーツリスト

33-1 アウターホイールリム

33-2 シールリング

33-3 ワッシャー

33-4 タイプAスポーク×12本

33-5 タイプCスポーク×25本 (1本は予備)

## ネジ類

ネジB (P2.3 x 5mm) ×7本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締めなくなる場合がある。パーツ同士が一定程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 33

/01



33-4(タイプAスポーク)のフックを、31-3(タイプAハブ)の残りの穴に挿入する。写真のように、スポークは向きを正しくし、まっすぐな端の方を32-1(スポークハウジング②)のノッチに配置する。

**STAGE 32** で組み立てた右側のフロントホイールを用意する。組み立てを始める前に、32-1(スポークハウジング②)の端に小さく切った両面テープを貼り付けておこう。

/02



33-4(タイプAスポーク)をすべて組み込んだら、31-5(タイプCハブ)を写真のように置く。

/03



33-5(タイプCスポーク)のフックを、31-5(タイプCハブ)の下の穴に挿入する。

/04





写真のように、Cスポークのまっすぐな端の方をハウジングのノッチに配置する。ハブの下の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。

さらに、33-5(タイプCスポーク)のフックを、31-5(タイプCハブ)の上の穴に挿入する。



Cスポークのまっすぐな端の方を、ハウジングの一番上にあるノッチに配置する。ハブの一番上の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。



33-2(シールリング)を33-1(アウターホイールリム)の内縁に固定する。写真のように、2本のネジBで固定する。





/09

33-1 (アウターホイールリム)をホイールに取り付ける。写真のように、円で囲んだ部分を合わせる。

4本のネジBでリムをホイールに固定する。



/10

#### STAGE 4 の完成

右側のフロントホイールがここまで仕上がった。次回で右側のフロントホイールを完成させよう。

## フロントホイール・右 ④

タイヤをはめ込んでフロントホイールを完成させよう。  
写真をよく見て、慎重に作業を進めよう。

34-1



## パーツリスト

34-1 タイヤ

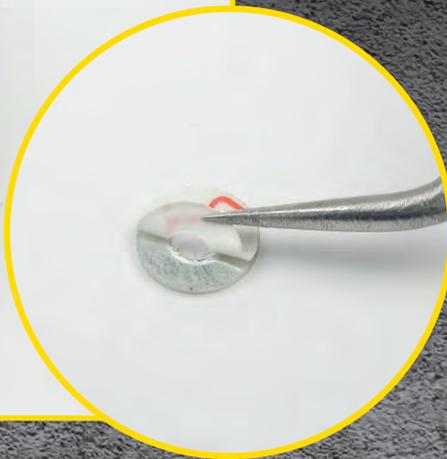
**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 34

/01



**STAGE 33** で組み立てた右側のフロントホイールと33-3(ワッシャー)を用意する。円内写真のように、ワッシャーの保護フィルムをはがす。



フィルムを剥がしたワッシャー側の面を下に向け、写真のようにタイプCハブに挿入する。

/02



/03



写真のようにワッシャーが配置されているか確認しよう。



/04



34-1(タイヤ)をホイールにはめこむ前に、(たとえば、ヘアドライヤーなどで)タイヤを少し温めておくとよい。ゴムが少しでもやわらかくなると扱いやすい。

タイヤに十分な柔軟性があることを確認する。

/05



/06



タイヤに左側リムをはめこむ。  
※組み立てジグは残りのホイールを組み立てるときに使うので、大切に保管しておこう。



**STAGE 04** の完成

これで右側のフロントホイール組み立てが完了した。他のパーツとともに、大切に保管しておこう。

# オイルリザーバーと フィルター、ポンプ

オイルリザーバーとオイルポンプを組み立て、フィルターを取り付けていく。  
写真をよく見て作業していこう。

35-1



35-2



35-3



35-4



ネジB×4



35-5



35-6



35-7



35-8



ネジD×2



## パーツリスト

35-1 リザーバータンク

35-2 リザーバーカバー

35-3 ポンプ

35-4 サポート

35-5 ノズル

35-6 ガasket

35-7 パイプ×2本

35-8 フィルター

## ネジ類

ネジB (P2.3 x 5mm) ×4本 (1本は予備)

ネジD (P2.3 x 5mm) ×2本 (1本は予備)

**ポイント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のマシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



35-1 (リザーバータンク)と35-2 (リザーバーカバー)を用意する。

/02



35-1 (リザーバータンク)に35-2 (リザーバーカバー)を置く。

/03



ネジBで固定する。



/04



35-6 (ガスケット) を 35-3 (ポンプ) に取り付ける。次に、ネジ D ネジでポンプを 35-4 (サポート) に固定する。

35-5 (ノズル) のランナーから、スタッドが 2 つ付いたノズルを 1 つ、さらに、スタッドが 1 つ付いたノズルを 2 つ取り外す (残りのノズルは予備)。2 本の 35-7 (パイプ) をノズルスタッドに取り付けて接続する。写真のように合わせよう。パイプが取り付けづらい場合、楊枝などを利用してパイプの差し込み口を少し広げるとよい。(広げ過ぎに注意すること)

/05

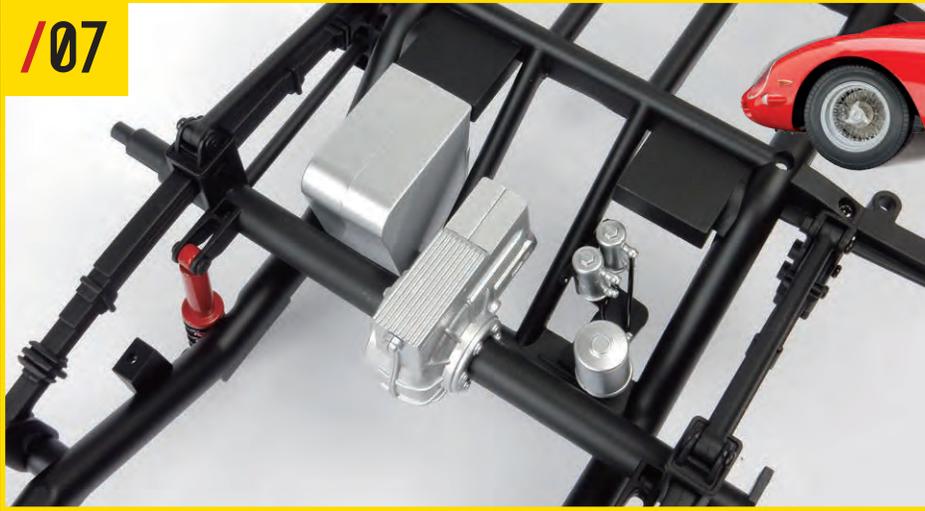


/06



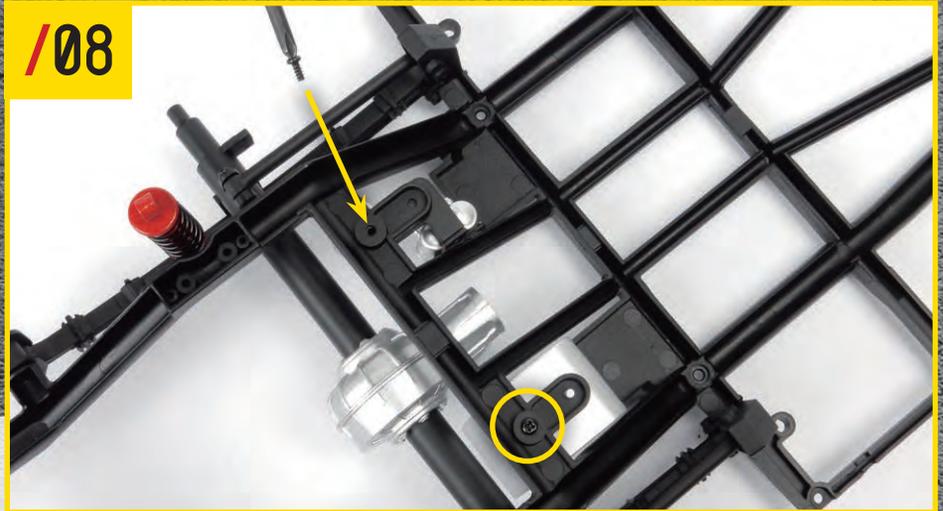
写真のように、2 つの 35-8 (フィルター) をポンプサポートに取り付け、ノズルを穴に挿入する。

/07



写真のシャーシに示されている位置に、リザーバーとポンプを取り付ける。

/08



Bネジ2本でシャーシに固定する。



#### STAGE 05 の完成

現時点でのシャーシのようす。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

# スパークプラグリード

左側のシリンダーヘッドにスパークプラグリードを取り付けていく。右側は次回だ。



## パーツリスト

- 36-1 リードコネクタ (左シリンダーヘッド)
- 36-2 リードコネクタ (右シリンダーヘッド)
- 36-3 ショートリード 12本 (今回使用するのは6本)
- 36-4 ロングリード 12本 (今回使用するのは6本)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 36

/01



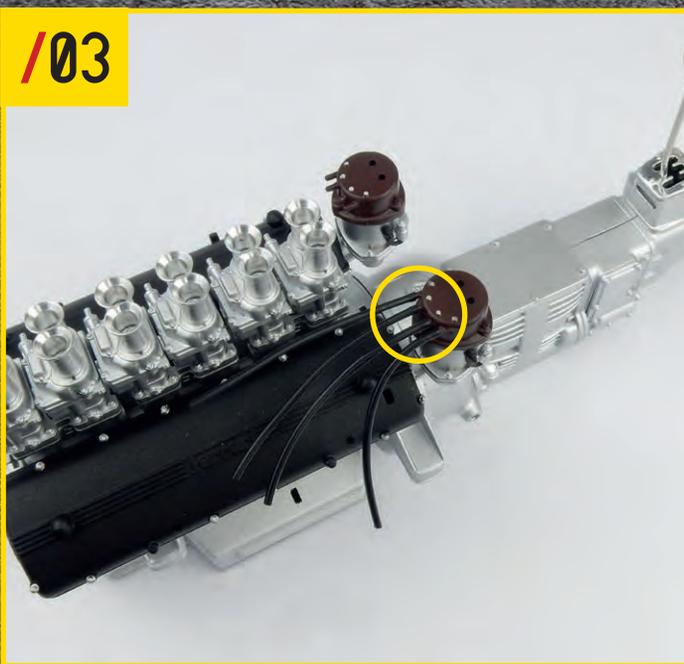
36-1 (左シリンダーヘッド用のリードコネクタ)と36-3 (ショートリード) 6本を用意する。ピンセットで、各リードの一方の端を36-1 (リードコネクタ) のスタッドに差し込んでいく。側面に5本、端に1本、それぞれつなげる。

**STAGE 19** で受け取った 19-4 (ディストリビューターキャップコネクタ) の1つを、コネクタの2つのサイドスタッドに36-4 (ロングリード) を2本差し込む。

/02



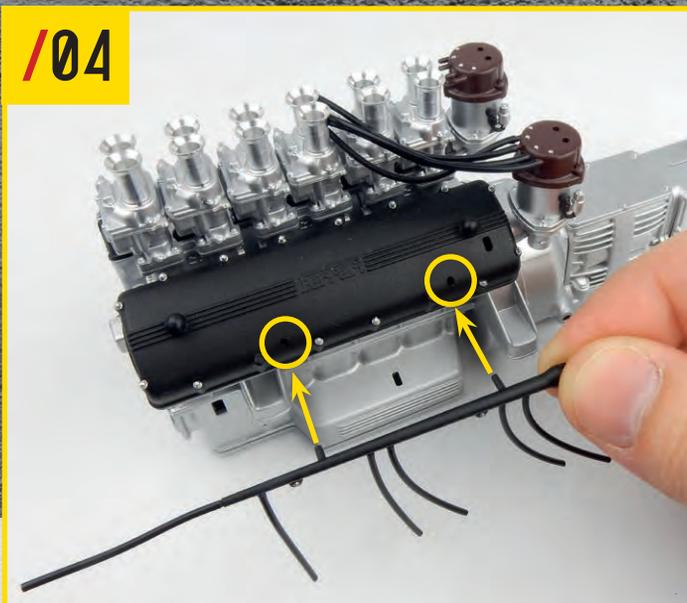
/03

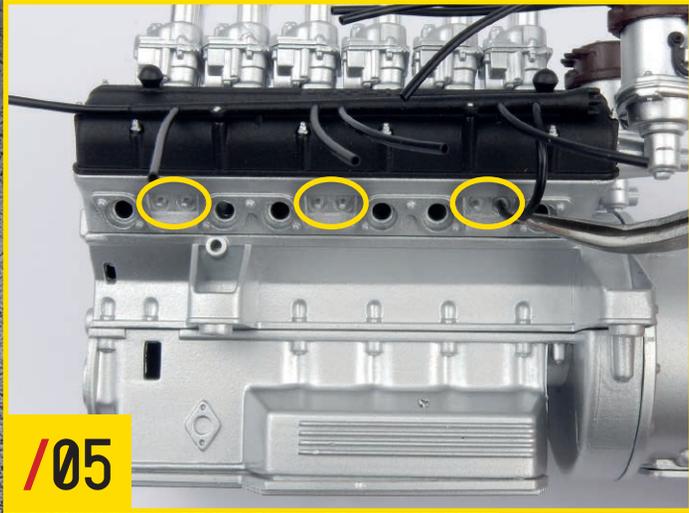


組み立てたエンジンを用意する。36-4 (ロングリード) 4本を左側の19-4 (ディストリビューターキャップ) のスタッドに差し込む。

写真の位置に2つのスタッドを挿入し、左側のシリンダーヘッドに36-1 (リードコネクタ) を取り付ける。

/04





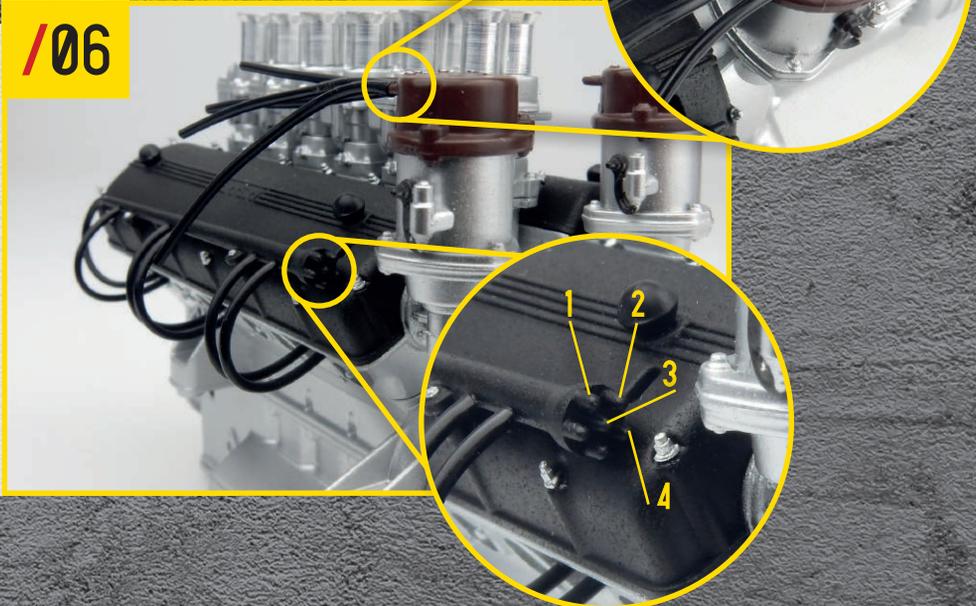
**/05**

ピンセットを使って、写真のように、ショートリードのもう一方の端をエンジンブロックのスタッドに差し込む。

写真で位置を確認しながら、ディストリビューターキャップから出ている4本のロングリードを、リードコネクタの端にあるスタッドに差し込む。黄色の円に示されている順序で作業するとよい。

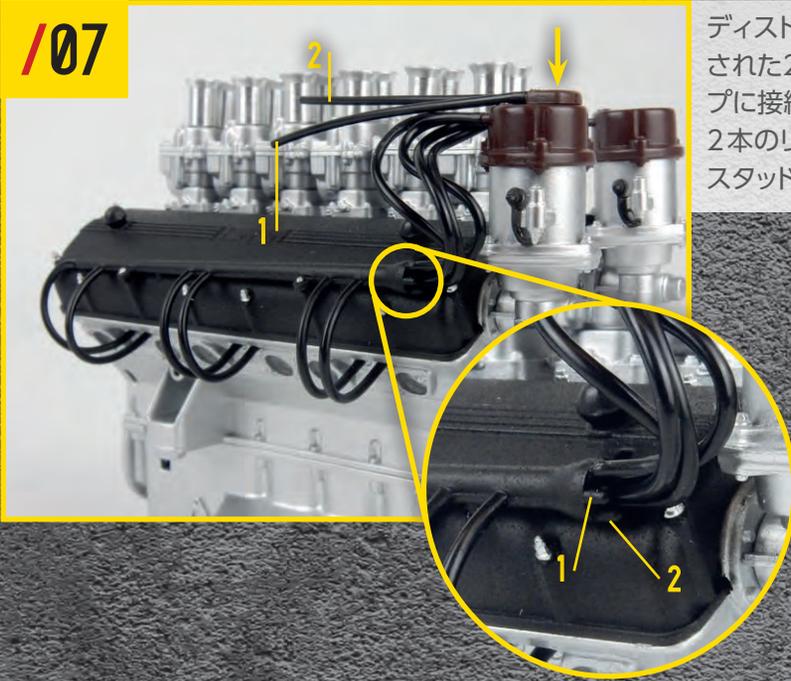
**/06** 4本のロングリード及び**/07** 2本のロングリードをリードコネクタの端にあるスタッドに差し込みづらい場合、一旦シリンダーヘッドへ差し込んだリードコネクタの差し込みを緩めて作業空間を確保するとよい。

**/06**

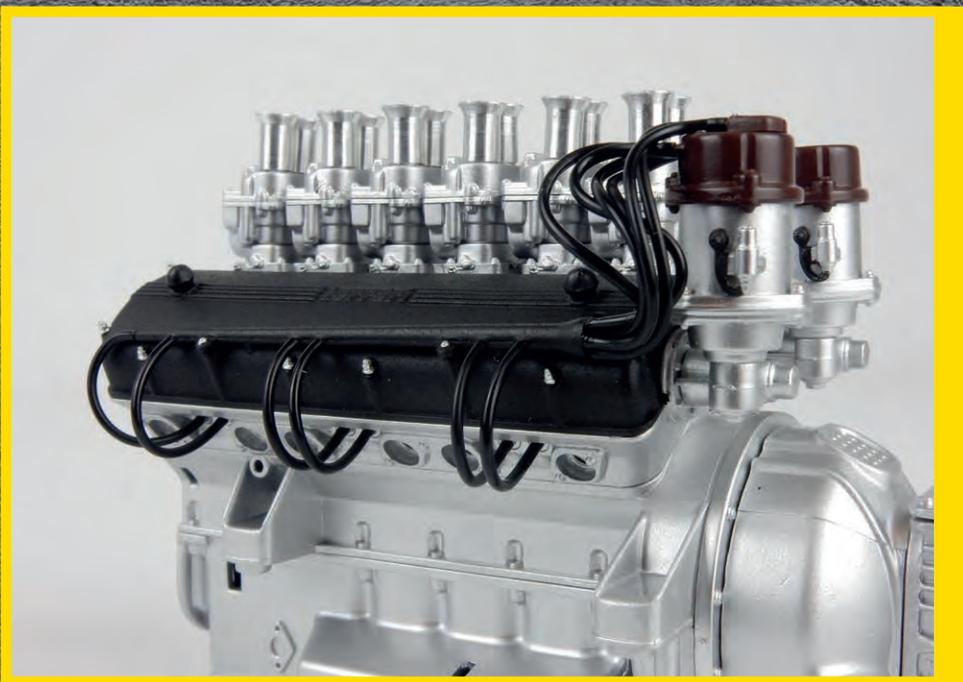




/07



ディストリビューターキャップコネクタ (36-02の作業で追加された2本のロングリード) を左のディストリビューターキャップに接続する。さらに黄色の円に示されている順序に沿って、2本のリードのもう一方の端をリードコネクタの残りの2つのスタッドに差し込む。



**STAGE 06** の完成

左のスパークプラグリードを取り付けたエンジン。今回使用しなかったパーツは大切に保管しておこう。